

地域課題・目指す将来像

地域
課題

- 観光面での魅力発信不足や主要観光地との競争、生活交通における人口減少・高齢化に伴う運転手不足や交通空白地域の拡大、さらに半島・山間部・離島におけるインフラ整備や維持管理に係るコスト増加により、災害時・緊急時の交通網が脆弱であるため、災害時等の移動手段確保が課題
- 次世代エアモビリティの実装を支えるには、機体開発、製造、運航に関わる県内産業の裾野拡大が必要であり、関連事業者の参入と連携を促進することが求められている

将来像

- 日常生活の中で安全で自由な空の移動を享受できる社会（社会実装（観光、生活交通、災害・救急等）と関連産業の振興）
- 開発・製造・運航を支える関連産業が集積し、次世代エアモビリティ分野で産業競争力の高い地域を形成する

推進体制

名称：静岡県未来技術地域実装協議会

地方公共団体	静岡県、静岡市、浜松市
国（★は現地支援責任者）	★国土交通省、総務省、経済産業省
民間事業者	株式会社SkyDrive、Eve Air Mobility、鈴与株式会社、静岡鉄道株式会社、エアロトヨタ株式会社、三菱地所株式会社、株式会社IHIパーキングスクエア、株式会社JTБ、株式会社日本政策投資銀行、ソフトバンク株式会社、野村不動産株式会社
大学等	静岡理工科大学、慶應義塾大学大学院

課題解決に向けた取組

①次世代エアモビリティ導入促進事業【次世代エアモビリティ】

○民間事業者のビジネス化支援を通じた社会実装の促進

- ・ 具体的には、運行ビジネスのモデル構築支援、離着陸場の選定・整備支援を実施。

②静岡型航空産業育成事業【次世代エアモビリティ】

○技術開発・製造支援を通じた関連産業の振興

- ・ 具体的には、開発支援（実証フィールドの提供 等）、参入支援（ビジネスマッチング 等）を実施。

【県事業】

次世代エアモビリティの社会実装を実現するため、民間事業者の参入を促進

- ①民間事業者のビジネス化支援
 - ・ 運航事業のモデル構築／飛行実証
 - ・ 離着陸場の候補地の選定／整備 など
- ②技術開発・製造支援
 - ・ 開発支援（実証フィールドの提供 ほか）
 - ・ 参入支援（ビジネスマッチング ほか）

【未来技術社会実装事業】

県事業等で明らかになった課題を関係府省庁の伴走支援により解決



ヘリコプターを活用したモニターツアー
（令和7年度）



実装イメージ